

HOT

コミュニケーション

子ども手帳を寄付



(財)日本公衆電話会（前川二郎 北海道統括支部長）より町内の小学校高学年の全児童に子ども手帳が贈呈されました。

子ども手帳は、小学生が社会の一般ルールやマナーを守り、犯罪・事故などの危険にあわないよう自分たちで考える内容の手帳で、公益事業の一環として作成、本町の児童に寄付されることになったものです。（11月25日）

ふくろう作品展



当別ふくろうの会による「ふくろうに魅せられて」と題したミニ展覧会が白樺コミセンで行われています。

愛くるしいフクロウが夜の森を見守っている作品他8点が並び、様々な表情を見せています。作者は、札幌市で40年以上もフクロウをテーマに作品を作り続けている加藤瑞子^{かとうみずこ}さん。七宝やマジックガラスと木を組み合わせることで、精巧で北海道らしい自然を描いています。3月末まで、白樺コミセンのエントランスホールで見ることができます。（11月19日）

土地改良区1世紀を祝して



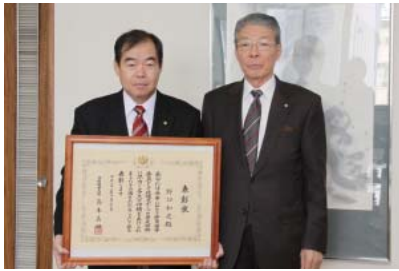
米づくりのため土功組合を設立した明治44年から100年目を迎え、当別土地改良区（みどりネット）が記念式典を開催しました。

明治時代、寒冷な北海道で本格的な米づくりが難しいといわれながらも、灌漑施設の整備など、土木施設を充実させ、品種改良を進めてきた先人たちの功績が紹介されました。

長年、土地改良事業に功績のあった組合員に感謝状が贈られ、会場に集まった160人の関係者から、労いの拍手を受けました。（11月27日）

広 告

野口さんに大臣表彰

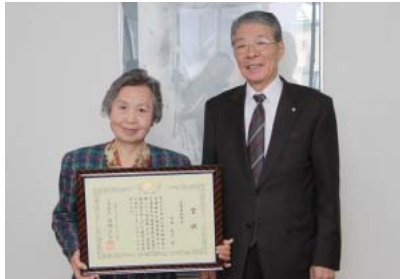


町体育指導委員長を務める野口和之さんが体育指導委員功労者(文部科学大臣)表彰を受賞しました。

野口さんは昭和55年に体育指導委員として、町民のスポーツ、レクリエーション活動の普及に努め、指導委員会の役員を歴任。石狩管内体育指導委員協議会会長であり、総合型地域スポーツクラブの創設など、長年の活動が認められました。「皆さんと一緒に楽しんだまでのこと。受賞は皆さんのおかげです。」と話していました。

(11月29日)

全道シルバー作品展2年連続



北海道文化団体協議会主催のシルバー作品展において中地信子さん(太美寿)の短歌が北海道知事賞に選ばれました。

同作品展では、書の部、工芸の部など4つの部門があり、中地さんは短詩型の部での受賞となりました。知事賞は毎年、部門ごと各1点しか選考されないため、昨年の書の部での、門馬きよ子さんに続き、2年連続の知事賞受賞は大変珍しいことです。

町内の文化団体の今後の活躍も期待されています。

(11月29日)



広 告